

1 2. 佐波川の概要

2 2.1 流域及び河川の概要

3 2.1.1 流域の概要

4 佐波川は、その源を山口・島根県境の三ツヶ峰（標高970m）に発し、山間峡谷部を流れ、
 5 野谷川、三谷川、島地川等の支川を合わせ、その後、防府市街地北部を流れ、周防灘に注
 6 ぐ、幹川流路延長56km、流域面積460km²の一級河川です。

7 佐波川流域は、山口県のほぼ中央に位置し、その流域は防府市、山口市、周南市の3市
 8 からなり、流域内人口は約3万人で、流域の土地利用は山地が93%、田畑等の農地が6%、宅
 9 地等の市街地が1%の約6km²となっています。しかしながら、はん濫域の面積及び人口は防
 10 府市街地を中心に約58km²、約8万人にも及んでいます。

11 下流域には佐波川の三角州状の地形と近世の干拓によって防府平野が形成されている
 12 とともに、本川には中国縦貫自動車道、JR山陽新幹線、国道2号、山陽自動車道、JR山陽本
 13 線等の主要交通が横断しています。

14 干拓で広がった河口域では江戸時代から製塩業が栄えましたが、昭和35年の製塩業廃止
 15 を契機に塩田跡地に企業誘致が進められ、周南工業地帯の一翼を担っています。また、佐
 16 波川ダムの上流域にある滑山国有林は、古くから杣山として奈良東大寺の再建用材にさ
 17 れるほどの立派な材木を産出し、また産地は美林を誇っており、現在でも一部は学術参考
 18 林として保護される豊かな自然環境が残り、佐波川ダムのダム湖である大原湖を含む流域
 19 の一部は長門峡県立自然公園となっています。

20 このように、自然豊かな環境に恵まれるとともに、山口、防府、周南地域における社会・
 21 経済・文化の基盤を形成しています。

22

23

表 2.1.1 佐波川流域の諸元

項目	諸元
流域面積	460km ²
幹川流路延長	56km
水源	三ツヶ峰（標高 970m）
流域内人口	約 30,000 人
流域内市	防府市、山口市、周南市

24

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30



図 2.1.1 佐波川流域平面図

31
32
33
34
35

※本計画では、佐波川の上右田堰付近より下流の防府市街地を含む区間を下流区間とし、それより上流の区間を上流区間と呼ぶこととします。

1 2.1.2 地形・地質

2 (1) 地形

3 佐波川流域の地形は、上流の周防山地、中流から下流にかけての周防高原及び平地に区
 4 分されます。また、下流の防府市一帯の平地は、佐波川の谷底平野と河口付近に発達する
 5 三角州状の地形に区分されます。

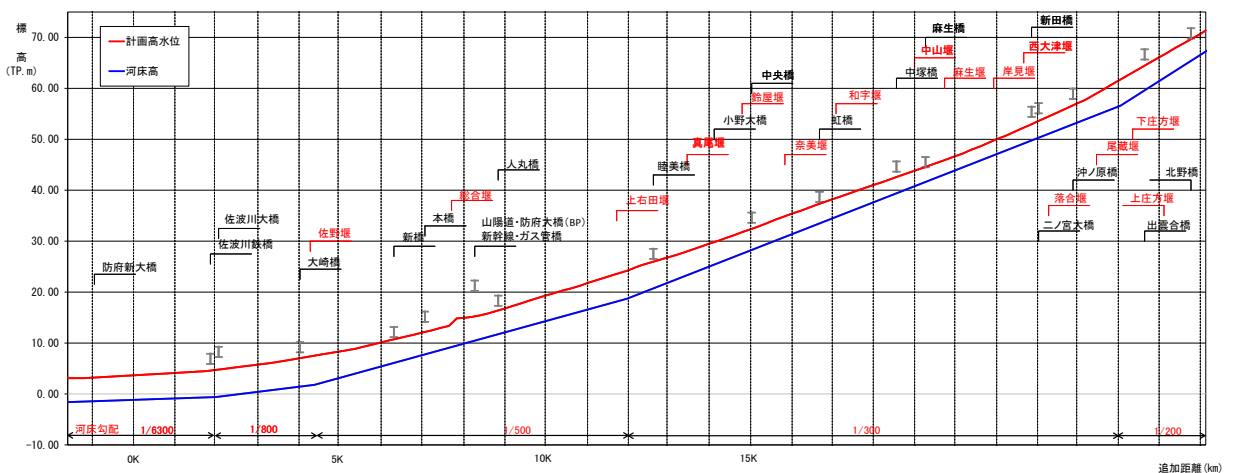
6 この総合堰付近を扇頂として広がる三角州状の地形とそれを取りまく近世以降の広大
 7 な干拓地を、扇状地三角州（ファンデルタ）といいます。

8 また、江戸時代以前の佐波川河口付近の海岸線は、現在の河口から 6km 程度上流にあっ
 9 たと考えられています。その後、干拓地の拡大が進められ、現在の海岸線が形成されてい
 10 ます。



11
12
13
14
15
16
17
18
19 図 2.1.2 干拓地の変遷

21 佐波川の河床勾配は、江戸時代以前の河口であった佐野堰付近より下流では 1/1000～
 22 1/6000 程度と緩勾配となっていますが、上流に向かうにつれ、急勾配となり、山間を蛇行
 23 して流れる区間では 1/200～1/300 の急流河川となっています。



24
25
26
27
28
29
30
31
32
33 図 2.1.3 佐波川の河床勾配

1 (2) 地質

2 流域の地質は佐波川と島地川の合流点より下流の佐波川下流域とその上流の佐波川上
 3 流域、島地川流域の3つに大別され、佐波川上流域は流紋岩や安山岩、島地川流域は三郡
 4 変成岩(主に黒色片岩(=泥質片岩)、塩基性片岩及び両者の互層により形成)、佐波川下
 5 流域は花崗岩が分布しています。

6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24

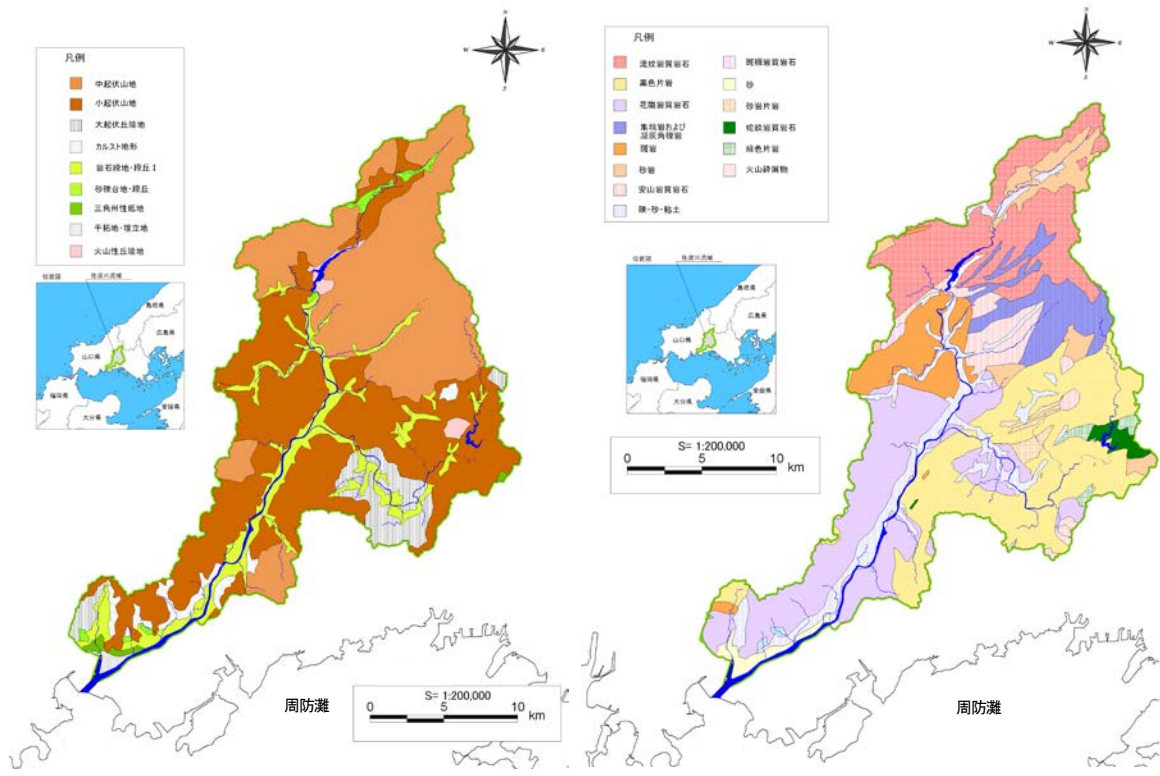


図 2.1.4 佐波川流域地形分類図及び表層地質図
 (出典：山口県土地分類図地形分類図 昭和 48 年 経済企画庁総合開発局発行)

2.1.3 気候・気象

流域の気候は、下流の防府周辺が瀬戸内海型気候、上流の野谷周辺が日本海型気候に属しています。年間平均降水量は堀より下流で約1,800mm、堀より上流で約2,000mmであり、全国平均程度となっています。

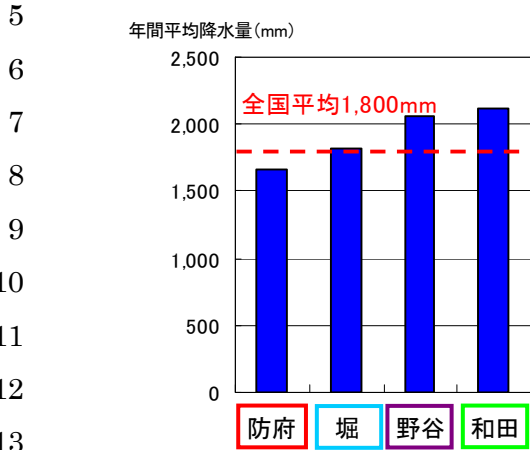


図 2.1.5 年間平均降水量
(平成 14 年～平成 23 年)
(出典：気象庁)

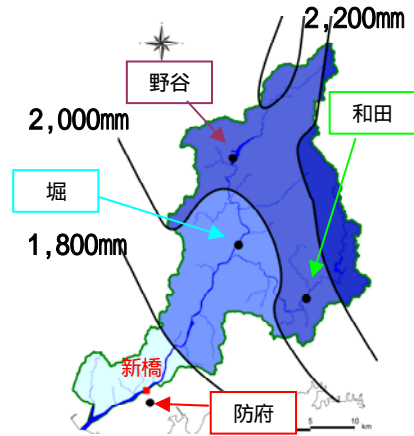


図 2.1.6 年間平均降水量分布図
(平成 14 年～平成 23 年)
(出典：気象庁)

2.1.4 人口と産業

流域関連市の人口 (257,057 人：平成 22 年国勢調査) が山口県全体の人口 (1,451,338 人：平成 22 年国勢調査) に占める割合は約 18%です。

防府市、周南市を中心とした周南工業地帯には、大規模自動車組立工場を頂点とする輸送用機械器具製造業等が集積しており、山口県の製造品出荷額の約 41%を占めています。

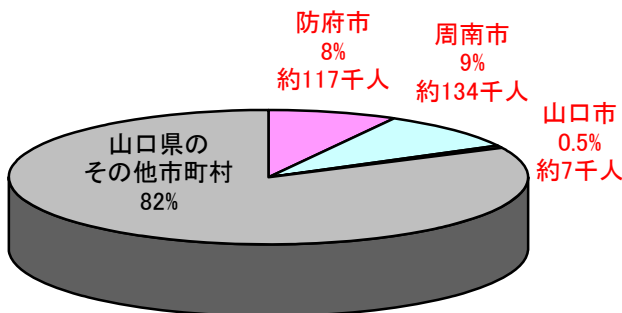


図 2.1.7 流域関連市の人口比率
(「平成 22 年国勢調査」より)

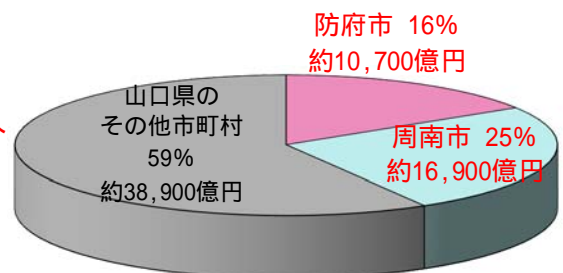


図 2.1.8 製造品出荷額
(平成 18 年工業統計より)

注)周南市の人口は、旧徳山市、旧新南陽市、旧鹿野町の集計。山口市の人口は、旧徳地町の集計。